

日本ブリーフサイコセラピー学会 第25回 札幌大会

The 25th meeting of the Japanese Association of Brief Psychotherapy in Sapporo

テーマ：「ブリーフするとブレイクスルー？」

会期 2015年7月18日(土)～7月20日(月・祝)

▶かでの2・7(7/18)

会場

▶大通公園メンタルクリニック(7/18)

▶北星学園大学(7/19・7/20)

大会長

山田 秀世(大通公園メンタルクリニック)

＜特別講演(市民公開講座)＞ 7月20日(月・祝) ▶14:30～16:30

「科学的スピリチュアル・ケアによる生きがいの創造」

講師：飯田史彦(経営心理学者、カウンセラー、元福島大学教授)

★7月18日(土) ▶13:00～18:00 —— ワークショップ

- ①「CRCT；条件反射制御法」— 平井慎二(下総精神医療センター)・長谷川直実(ほっとステーション)
- ②「協働的面談の構築 —クライアントの気づきを促すやる気を引き出す面談スタイル—」— 北田雅子(札幌学院大学)
- ③「神経質者、集まれ!! —外来の森田療法を‘お題目’で行わないために—」— 岩木久満子(顕メンタルクリニック)・杉岡品子(北翔大学)
- ④「うつ回復におけるブリーフの実践 ～産業領域での支援経験をもとに—」— 廣瀬雄一・小林美穂子(大通公園リワークオフィス)
- ⑤「ポストソリューションからオープンダイアログへ」— 白木孝二(Nagoya Connect & Share)・長沼葉月(首都大学東京)
- ⑥「エリクソニアン・マインドフルネス」— 津川秀夫(吉備国際大学)
- ⑦「ブリーフセラピー入門 —もう一度、そして新しくブリーフセラピーを学びたい人のために—」— 長谷川明弘(東洋英和女学院大学) 石丸雅貴(金沢工業大学)
- ⑧「学校で活かす解決志向アプローチ ～生徒どう?!(静と動)：成功事例から学ぶ～」— 黒沢幸子(目白大学)
- ⑨「成人当事者の語りから自閉症スペクトラム障害児者への支援を考える」— 齊藤真善(北海道教育大学札幌校)

★7月19日(日)、20日(月・祝) —— 学術大会

＜大会シンポジウム＞ 19日(日) ▶16:40～18:10

「サイコセラピーとスピリチュアリティ」

対 談：東豊(龍谷大学) vs 芦沢健(植苗病院)

指定討論者：児島達美(長崎純心大学)、中島央(向陽台病院)

＜シンポジウム1＞ 19日(日) ▶13:20～14:50

「発達と改善・回復をもたらすもの」

シンポジスト：市橋香代(東京大学)、衣斐哲臣(和歌山大学)、大友秀人(北海商科大学)

指定討論者：岡留美子(岡クリニック)、菊池安希子(国立精神・神経医療研究センター)

＜シンポジウム2＞ 20日(月・祝) ▶10:40～12:10

「マインドフルネスとブリーフセラピー」

シンポジスト：高橋美保(東京大学)、津川秀夫(吉備国際大学)

山田秀世(大通公園メンタルクリニック)

指定討論者：越川房子(早稲田大学)、吉川悟(龍谷大学)

＜フリー企画＞ 19日(日) ▶15:00～16:30

- ①「OCDへのアプローチ(条件反射制御法)」— 岡嶋美代(なごやメンタルクリニック)
- ②「EFT」— 富田敏也(大通公園リワークオフィス)
- ③「明日から使えるナラティブ・セラピー」— 坂本真佐哉(神戸松蔭女子学院大学)
- ④「スクールカウンセラーが行う授業」— 中野ひろみ(札幌市スクールカウンセラー)
- ⑤「やさしいトランス療法」— 中島央(向陽台病院)
- ⑥「二重過程理論の臨床応用 —エビデンスに基づく“行動療法”と“新世代ブリーフ”—」— 鈴木俊太郎(信州大学)他

当大会は北海道医師会認定生涯教育講座(15単位)として開催します。

＜カリキュラムコード＞

- 1：専門職としての使命感
- 5：医師-患者関係とコミュニケーション
- 6：心理社会的アプローチ
- 9：医療情報
- 10：チーム医療
- 69：不安
- 70：気分の障害(うつ)

学術大会、ワークショップに参加することで、(財)日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士有資格者の資格更新のための研修ポイントを2ポイント取得できます。

大会事務局

事務局長：佐藤 祐基
北星学園大学 社会福祉学部

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
E-mail: sapporo2015@jabp.jp
http://www.knt.co.jp/ec/2015/jabp/